神奈川県南支部のホームページは（全日本建設交運一般労働組合 (ctg-kennan.net)）をクリックか右のＱＲコードからアクセスできます。分会・班の仲間は多くの労働者に広げてください。

CTG 建交労

２０２５年７月７日
建交労神奈川県南支部
２０２５年夏季闘争№４
2024 年度推進ニュース㉗通算 378
発行責任者　小島　茂

選挙運動は労働組合の基本的な闘争！参議院選挙で私たちの要求実現めざそう

七夕の今日、7 月 20 日の投票日に向けて参議院選挙闘争が本格化しています。大企業の内部留保は 520 兆円を超え、富裕層は空前の儲けを謳歌する一方で、労働者の実質賃金は 30 年間低迷し、物価高騰や社会保障制度の改悪が止まらず、労働者・国民を苦しめる政治が続いています。政府与党は「国会議員の数」の力で悪政を続けていますが、昨年の総選挙では国民の厳しい審判を受け衆議院での過半数割れに追い込まれました。その結果、通常国会では与党の暴走に一定のブレーキはかけましたが国民生活は改善されていません。今回の参議院選挙は、衆議院に続いて参議院でも与党を過半数割れに追い込んで国会を国民本位の国会に改革するチャンスです。

労働組合運動の基本は、賃上げをはじめとする経済闘争と、ものごとの本質を見抜き社会を改善する力を培う学習運動、そして政治闘争の３本柱です。労働組合の政治闘争は労働条件や社会保障を拡充し、基本的人権・民主主義・平和の徹底など日本国憲法を職場や産業・地域で実現していくためのたたかいです。その政治闘争の結節点は選挙戦であり、組合員一人ひとりが参政権を余すことなく行使することが基本です。労働組合は組合員の思想信条の自由を保障し選挙運動に積極的に参加することを呼びかけます。一人ひとりが投票行動を実践し、同時に家族・友人・知人などに投票行動を呼びかけましょう。

ヤマト運輸の団交拒否は明確な不当労！1日&2日の都労委証人審問でヤマト追及

建交労神奈川県本部・ダンプ支部・軽貨物ユニオンは、ヤマト運輸による不当労働行為（団交拒否）の救済を求め東京都労働委員会でたたかいをすすめていますが、７月１日と２日に証人審問が行われました。初日の審問では建交労神奈川県本部の高橋書記長の証言によって軽貨物ユニオン組合員の労働者性を浮き彫りにしました。２日目はヤマト運輸の管理職２名が証人に立ち、主尋問で軽貨物ユニオンの労働者性を否定しましたが、組合側代理人による反対尋問では、組合員の労働者性を隠し切れない証言を引き出しています。次回期日は 9 月 22 日あるいは 10 月 1 日のいずれかになるとこを確認して閉廷しました。

７月１日は建交労中央本部、東京都本部、栃木県本部、神奈川県本部、ダンプ支部、横浜事業団支部、神奈川労連、首都圏青年ユニオン、全国一般神奈川地本、インボイスを考える会など代理人を含む 24 人が参加しました（神奈川県南支部の参加者は小島、金崎、佐藤、和泉、赤羽）。
２日目の参加者は、東京都本部、栃木県本部、神奈川県本部、横浜事業団支部、建交労首都圏、神奈川労連、代理人を含む 14 人でした（神奈川県南支部は和泉、赤羽が参加）。

東京都本部書記長の遠藤晃さんを偲ぶ会
早逝した故人を惜しむ仲間108名が参集

昨年 12 月 1 日に 46 歳の若さで急逝された建交労東京都本部の遠藤晃書記長を偲ぶ会が 6 月 21 日に全労連会館で行われ会場には遠藤晃さんの急逝を悼む 108 名の仲間が参集し故人の生前を偲びました。

神奈川からは県本部の伊藤委員長、高橋書記長、神奈川県南支部の清野副委員長、佐藤執行委員、赤羽特執が参加しました。

遠藤晃さんは、建交労都道府県本部のなかでも早い時期に 31 歳の若さで都本部青書記長として活躍し、これから益々重要な役割を担われることが期待されていました。早すぎたご逝去が残念でなりません。

また、遠藤晃さんは、神奈川県南支部や神奈川ダンプ支部などがたたかった労働争議に必ず支援に駆けつけ、柔和な表情と断固とした姿勢で仲間を激励して頂きました。このことを決して忘れません。遠藤晃さんのご冥福を心からお祈り致します。

JR川崎駅前6.22宣伝行動8名で実施！

神奈川県南支部は猛暑日となった 6 月 22 日にＪＲ川崎駅前での宣伝行動を慣行しました。参加者は小島委員長、清野副委員長、金崎書記長、佐藤・木下両執行委員、和泉・赤羽両特別執行委員と合同分会の大島組合員の合計８名でした。

猛暑の当日は参加者の熱中症にも気をつけながら元気に行動しました。